

姫路市緊急経済対策の考え方〔令和2年5月27日改定〕

令和2年4月7日、兵庫県を含む7都府県に緊急事態宣言が発令されたことを受け、本市として、新型コロナウイルス感染症対策を強化するため、令和2年度国補正予算等を活用し、補正予算の編成や条例改正など、あらゆる手段を総動員し、感染症の拡大を防止するとともに市民生活を守るため緊急に実施すべき対策を「第1弾緊急経済対策」としてスピード感を持って実行する。
加えて、5月7日からの緊急事態宣言の延長と感染の長期化を踏まえ、感染拡大の一層の防止や市民生活の安定など、早急な対応が必要な対策を「第2弾緊急経済対策」として実施し、感染症の収束後を見据えた経済復興事業等を「第3弾緊急経済対策」として実施する。
さらに、感染状況や市内の経済動向を見極めつつ、国の第2次補正予算等を踏まえ、姫路市一丸となった取り組み（第4弾緊急経済対策）を進める。

第0弾	姫路市緊急経済対策		
感染が拡大傾向にあった時期に、速やかに取り組むことを要する支援を、機動的に実施 ▶ 保健所の相談窓口の設置 ▶ 感染管理サポートチームの設置 ▶ 信用保証料の助成 等			
第1弾	姫路市緊急経済対策	R2.4.23本部決定	R2.4.30議決 [56,568,707千円]
市民の命を守ることを最優先とした感染拡大防止対策に加え、外出自粛等による経済活動の低下に対応する生活支援や雇用維持・事業継続への対策を緊急に実施			
市民の「命」を守るために		—感染拡大防止対策—	[863,990千円]
▶ 院内感染予防など感染拡大の防止 ▶ 校舎内手洗い場蛇口の自動水栓化 等			
市民の「一生」を支えるために		—生活支援対策—	[54,941,887千円]
▶ 特別定額給付金の支給 ▶ 市立学校へのオンライン学習環境の整備 等			
市民の「暮らし」を維持するために		—雇用維持・事業継続対策—	[762,830千円]
▶ 休業要請等に協力した事業者への固定費（家賃）支援 等			
第2弾	姫路市緊急経済対策	R2.5.27本部決定	[1,974,241千円]
感染拡大の更なる防止や、自粛等の長期化に影響を受けている市民生活の安定、事業経営の維持など、早急な対応が必要な対策を実施			
市民の「命」を守るために		—感染拡大の更なる防止—	[490,563千円]
▶ 妊婦と配偶者等を対象としたPCR検査の実施 ▶ 地域外来・検査センターの開設 ▶ 入院治療を行う医療機関への協力金（最大2,000万円） 等			
市民の「一生」を支えるために		—感染流行の影響が尾を引く中での生活の安定—	[361,358千円]
▶ ひとり親世帯への地場産品提供による地元生産者の支援（6千円/月×2ヶ月分）×3回 ▶ 経済的に厳しい環境におかれた大学生等への給付金の支給（3万円） 等			
市民の「暮らし」を維持するために		—社会活動の停滞が長引く中での事業経営の維持—	[1,122,320千円]
▶ 休業要請等に協力した事業者への支援〔第2次〕（20万円） ▶ 姫路の飲食店を応援しよう！プロジェクト 等			
第3弾	姫路市緊急経済対策	R2.5.27本部決定	[1,647,644千円]
感染流行の第2波・第3波への備えや、感染症の収束後を見据え、今回の教訓を踏まえた経済復興事業等を実施			
市民の「命」を守るために		—感染流行の第2波・第3波への備え—	[217,128千円]
▶ 重症感染者搬送用の高規格救急車の導入 ▶ 感染流行に備えた介護施設等の個室化支援（1床当たり97万8千円） 等			
市民の「一生」を支えるために		—新たな日常への対応—	[1,086,576千円]
▶ 半年間の水道料金（基本料金）を全額免除 ▶ 離職者等への就労支援の拡充、A I面接を活用したU J Iターンの促進 等			
市民の「暮らし」を維持するために		—地域経済の復興—	[343,940千円]
▶ プレミアム付商品券等による地域商業の活性化 ▶ 姫路城ライトアップイベント等による観光誘客PR事業の実施 等			
緊急経済対策事業費（第1弾～第3弾の総計）			[60,190,592千円]

〔全体版〕

〔1,974,241千円〕

●補正予算 ●条例改正 ●その他 ★市独自施策

市民の「命」を守るために ―感染拡大の更なる防止―

〔490,563千円〕

- ★● 地域外来・検査センターの開設
- ★● PCR検査検体採取を行う医療機関への支援（1検体当たり3千円）
- ★● 新型コロナウイルス感染症入院治療を行う医療機関への協力金（最大2,000万円）
- ★● 医療機関を支援するための寄付の受け入れ
- ★● 老人福祉施設等の感染予防支援（施設規模により1施設5万円～15万円）
- ★● 地域公共交通の感染拡大防止支援（バス2万円/台、タクシー1万円/台、定期航路5万円/隻）
 - 感染症患者の入院医療費の公費負担
 - PCR検査体制の強化（検査機器の整備、検査の民間委託）
 - 感染拡大予防体制の整備
 - 避難所や市文化施設等における感染症対策（消毒液の購入、サーモグラフィの設置等）
 - エッセンシャル・ワーカー等のための支援（放課後児童クラブの運営等）
 - 濃厚接触者入所者に対する介護サービス等の継続提供のための支援（感染症発生時の老人福祉施設等消毒費用等）
- ★● 新型コロナウイルス感染症から姫路の未来を守るプロジェクト（妊婦と配偶者等を対象としたPCR検査の実施）
- ★● 医療従事者や新型コロナウイルス感染症患者への差別防止に向けた啓発
- 障害福祉サービス事業者等へのマスクの配布

市民の「一生」を支えるために ―感染流行の影響が尾を引く中での生活の安定―

〔361,358千円〕

- ★● ひとり親世帯への地場産品提供による地元生産者の支援（6千円/月×2ヶ月分）×3回
- ★● 経済的に厳しい環境におかれた大学生等への給付金の支給（3万円）
- ★● 夏休みの短縮に向けた環境の整備（熱中症対策としてネッククーラー、サンシェードの支給）
- ★● 学校再開に伴う学習体制の強化（姫路まなび応援スタッフの配置）
 - 学校再開に伴う学習体制の強化（学習指導員の配置）
 - 学校休業に伴う給食用食材費等の補助による学校給食費の保護者負担軽減（継続支援）
- 新型コロナウイルス感染症の影響により収入が減少した被保険者等に係る国民健康保険料・介護保険料の減免
- 新型コロナウイルス感染症の影響により収入が減少した被保険者等に係る後期高齢者医療保険料の減免
- ★● 緊急雇用対策の実施（就職の内定を取り消された方や、離職を余儀なくされた「ひとり親」の方などを、会計年度任用職員として採用）
- ★● 日本語指導が必要な児童生徒在籍市立学校への多言語音声翻訳機の配備

市民の「暮らし」を維持するために ―社会活動の停滞が長引く中での事業経営の維持―

〔1,122,320千円〕

- ★● 休業要請等に協力した事業者への支援〔第2次〕（賃借以外にも拡大、20万円）
- ★● 姫路の飲食店を応援しよう!プロジェクト（プレミアム40%付飲食チケット）
- ★● 姫路の観光基盤である宿泊事業者への支援（ホテル・旅館に最大100万円）
- ★● 商店街振興組合等への緊急事業支援（2万円～3万円×店舗数）
 - 休業等を要請した事業者への支援〔県・市協調〕（対象事業者増による追加分）
- ★● 離職者等に提供する市営住宅の改修
- ★● 本市公共施設休館時における行政財産目的外使用料等の還付及び免除
- ★● 文化活動助成の拡充

第3弾

姫路市緊急経済対策

R2.5.27 姫路市緊急経済対策本部

[全体版]

[1,647,644千円]

●補正予算 ●条例改正 ●その他 ★市独自施策

市民の「命」を守るために -感染流行の第2波・第3波への備え-

[217,128千円]

- 新型コロナウイルス重症感染者搬送用の高規格救急車の導入
- 感染流行に備えた介護施設等の個室化支援（1床当たり97万8千円）
- ★● 広報発信の強化
- ★● 感染症の予防等に関する業務に従事する職員を対象とする特殊勤務手当の見直し

市民の「一生」を支えるために -新たな日常への対応-

[1,086,576千円]

- ★● 半年間の水道料金（基本料金）を全額免除
- ★● 離職者等への就労支援の拡充（姫路しごと支援センターセミナー、合同企業説明会等）
- ★● 修学旅行の感染症対策の支援
- ★● 遠隔授業、オンライン教育に関する就学援助世帯への通信費の支給
 - 教育の情報化に伴うGIGAスクールサポーターの増員配置
- ★● 学校休業に伴う就学援助世帯への昼食費の支援
- ★● AI面接を活用したUJIターンの促進

市民の「暮らし」を維持するために -地域経済の復興-

[343,940千円]

- プレミアム付商品券等による地域商業の活性化（県・市協調）（プレミアム20%付商品券等）
- ★● 姫路城ライトアップイベント等による観光誘客PR事業の実施
- ★● 観光ウェブプロモーション事業の実施
- ★● おもてなしクーポンキャンペーン事業の実施
- ★● 旅行サイトと連携した宿泊促進事業の実施
- ★● 地場産業の振興（播産館等での地場産業PRを支援）
- ★● 水産業への支援（学校給食における地産地消の推進）
- ★● 農業への支援（食べて応援「姫そだち」祭りの開催）
- ★● 地域公共交通の利用促進・需要創出
（バス：1法人当たり最大100万円、タクシー：法人の規模に応じて最大10万円～30万円
定期航路：1法人当たり最大100万円）
- ★● 市役所におけるテレワーク・Web会議システムの利用環境の充実

第2弾

姫路市緊急経済対策の主要事業

市民の「命」を守るために
— 感染拡大の更なる防止 —

新型コロナウイルス感染症から姫路の未来を守るプロジェクト (妊婦と配偶者等を対象としたPCR検査の実施)

姫路市内の産院で出産を控えた妊婦に唾液によるPCR検査を行い、安心・安全な出産・育児につなげるとともに、産院（産科医療機関及び助産所）での感染を予防し、地域の周産期医療の維持確保を図ります。

また、無症候性新型コロナウイルス感染症の実態把握につながるデータを収集し、今後の感染拡大防止に向けて活用します。

◆対象者

市内産院で出産予定の妊娠後期妊婦及び配偶者等で、参加条件に同意された方

◆利用料

無料

◆開始日

5月28日（予定）



地域外来・検査センターの開設

〔10,000千円〕

新型コロナウイルス感染症の早期発見と基幹病院の負担軽減を図り、更なる感染拡大を防止するため、姫路市医師会と協働して、地域外来・検査センターを開設します。



新型コロナウイルス感染症入院治療を行う医療機関への協力金 〔100,000千円〕

皆さまからの寄付を活用し、新型コロナウイルス感染症患者の入院治療を行う医療機関に対し、受け入れ準備や感染患者対応等への協力金（最大2,000万円）を支給します。

市民等の寄付

ふるさと納税



保健医療
推進基金



医療機関



市役所

第2弾

姫路市緊急経済対策の主要事業

市民の「一生」を支えるために
— 感染流行の影響が尾を引く中での生活の安定 —

ひとり親世帯への地場産品提供による地元生産者の支援

〔140,332千円〕

ひとり親世帯へ地場産品を使用した食材を配達し、生活支援を行います。
併せて、地場産品の購入により地元生産者や、配達協力を頂く地元タクシー業者への支援を行います。

◆支援対象となるひとり親世帯

令和2年4月分または5月分の児童扶養手当が満額支給されている市内居住世帯

◆配達する食材（地場産品）

- ・農産物（米、玉ねぎ、じゃがいも）
- ・水産加工品（姫路産のりなど）
- ・その他地場産品（そうめん、かりんとう、ハーブティー、ゆず加工品、姫路おでん）
- ・災害対策用備蓄食料（アルファ化米）

◆配達時期など

2カ月分の食料や食材（1万2千円相当）を、3回（6月、8月、10月頃）に分けて、ご家庭に配達



経済的に厳しい環境におかれた大学生等への給付金の支給

〔108,640千円〕

新型コロナウイルス感染症の拡大により、将来の不安が増す中、経済的に厳しい環境におかれた大学生等に給付金を支給し、修学継続を支援します。

◆給付金の支給対象

下記の①②の両方を満たす方が対象となります。

- ① (a) 市内の大学等※に在学 または
(b) 市内に居住し、市外の大学等に在学 または
(c) 保護者等が市内に居住し、本人が市外の大学等に在学
※ 大学、短期大学、高等専門学校、専修学校（専門課程）
- ② 独立行政法人日本学生支援機構の給付奨学金を受給 または
家計急変により同奨学金を受給

◆支給額

1人当たり3万円

◆支給スケジュール

6月	7月	8月	9月	10月	11月
申請受付					
給付					



第2弾

姫路市緊急経済対策の主要事業

市民の「暮らし」を維持するために
— 社会活動の停滞が長引く中での事業経営の維持 —

休業要請等に協力した事業者への支援〔第2次〕

〔842,000千円〕

休業要請等に協力いただいた事業者については、事業所を賃借している中小企業者等を対象とする支援事業〔第1次〕を行っています。

兵庫県の新型コロナウイルス感染症に係る休業や営業時間短縮の要請等が延長され、事業者が要請等に協力することにより、事業者の経営により深刻な影響を及ぼしている状況に鑑み、事業所（店舗）の賃借にかかわらず、中小企業者等に対して協力支援金を給付する事業〔第2次〕を姫路市が独自に行います。

◆支援金額

1 対象事業者につき20万円

◆申請期間

補正予算成立後の早期～令和2年7月31日(金) (予定)

◆対象

姫路市内に主たる店舗（施設）を有する中小企業者（個人事業主を含む。）で、兵庫県の休業・営業時間の短縮要請に応じた、又は休業要請を受けて休業した商業施設等に入居する店舗（施設）を運営しているもの

1 申請



2 審査



3 給付



姫路の飲食店を応援しよう！ プロジェクト
（プレミアム40%付飲食チケット）

〔124,000千円〕

登録されている飲食店の中から応援をしたいと思う飲食店を選び、その飲食店のプレミアム付き「応援チケット」を先払いで購入。

応援チケットのプレミアム分（40%）は市が負担します。

◆支援方法（クラウドファンディングによる支援）

- ・応援チケット購入型
※ プレミアム分（40%）は市が負担
- ・チケットなし寄付型

◆対象飲食店

姫路市内に主たる事業所を有し、参加を希望する飲食店

◆スケジュール

- ・チケット購入期間 6/中旬～7/19
- ・チケット利用期間 8/10～1/31
- ※ チケットを先払いで購入してもらい、市内飲食店の活用促進や資金支援を行います



第3弾

姫路市緊急経済対策の主要事業

市民の「命」を守るために
— 感染流行の第2波・第3波への備え —

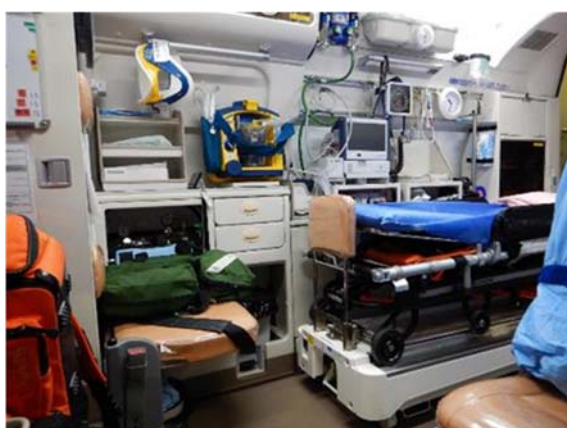
新型コロナウイルス重症感染者搬送用の高規格救急車の導入 [32,500千円]

人工呼吸器や自動体外式除細動器（AED）等の高度救命資器材のほか、傷病者を隔離した状態で安全に搬送するための患者搬送用資器材を装備した高規格救急車を導入します。

【外観】



【車内】



感染流行に備えた介護施設等の個室化支援

[181,908千円]

事業継続が必要な介護施設等において、多床室の個室化に要する改修費を補助し、施設内感染を未然に防ぎます。

◆対象施設

特別養護老人ホーム、老人短期入所施設、介護老人保健施設、介護医療院、養護老人ホーム、軽費老人ホーム、認知症高齢者グループホーム 等

◆補助額

1床あたり97万8,000円

【改修前】



【改修後】



第3弾

姫路市緊急経済対策の主要事業

市民の「一生」を支えるために

— 新たな日常への対応 —

半年間の水道料金（基本料金）を全額免除

令和2年6月使用分から半年間の水道料金の基本料金について、全額免除します。



一般家庭の場合（口径20mm 1ヶ月あたり）
基本料金（税込み）： 1,082円 ⇒ 無料
20m³使用した場合： 2,913円 ⇒ 1,831円

対象者数

244,641件

対象期間

偶数月検針の場合：令和2年8月、10月、12月検針分（6月～11月使用分）

奇数月検針の場合：令和2年9月、11月、令和3年1月検針分（7月～12月使用分）

離職者等への就労支援の拡充

A I 面接を活用したU J I ターンの促進

[6,038千円]

離職者等を対象とする姫路しごと支援センターの強化や、就職活動に不安を抱える学生を対象とする合同企業説明会の拡充に取り組むとともに、A I 面接の活用を促進します。

◆ 合同企業説明会（STEP HARIMA）の拡充
年3回 ⇒ 年6回

◆ 新卒者向けの合同企業説明会「あっと！姫路」の実施
インターンシップ関連事業に加え、新卒者向け
合同企業説明会を秋に追加開催

◆ 姫路しごと支援センター
・キャリアカウンセラーによるカウンセリング
・就職準備セミナーの定員拡充など、
さまざまな角度から就職活動をサポート

◆ A I 面接を活用したU J I ターンの促進
・事業者と連携し、就職支援サイト「JOB播磨」に
AI面接紹介のコンテンツを追加
・AI面接導入により面接にかかる時間や移動経費を削減し、U J I ターン就職を促進



姫路しごと支援センターの
カウンセリング



合同企業説明会の様子

第3弾

姫路市緊急経済対策の主要事業

市民の「暮らし」を維持するために

— 地域経済の復興 —

プレミアム付商品券等による地域商業の活性化

[200,000千円]

商店街で使用することができる期間限定のプレミアム付商品券等を発行し、地域商業の活性化を図ります。

※ 市によるプレミアム率:20%

◆プレミアム付商品券等

販売予定額：約12億円分（うち市プレミアム分：約2億円）



①商品券等販売



②商品券等利用



姫路城ライトアップイベント等による観光誘客PR事業の実施

[50,000千円]

新型コロナウイルス感染症の収束後を見据え、観光誘客が見込まれる時期が到来した際に姫路城でのライトアップイベントを実施することで、本市への誘客と魅力発信を図るほか、併せて中・四国圏や関西圏を主な対象とした観光PRを展開し、姫路城をはじめとする本市への観光誘客につなげます。

◆実施内容

①姫路城ライトアップイベント

- ・時期：令和2年12月（予定）
- ・場所：姫路城三の丸広場
- ・内容：LEDライト等による魅力的な光のアートを活用したライトアップイルミネーションを実施

②広告媒体等を活用した観光PR

- ・時期：令和2年秋以降
- ・内容：交通機関のデジタルサイネージ等の広告媒体を活用した観光PRの実施や、魅力ある観光資源を活かしたノベルティやパンフレット等の作成・配布



ライトアップイベントイメージ